

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 20 日作成)

小委員会名	文化遺産災害対策小委員会		主 査 名：後藤 治 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会		委員長名：伊藤 毅 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月～2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	災害による歴史的建造物や歴史的環境の滅失を防ぐための施策を検討する。 2011 年度 東日本大震災で被災した歴史的建造物の実態把握 2012 年度 2011 年度に引き続き東日本大震災の被害実態の把握を行うと同時に行政や関連学会・委員会で取り組まれている文化遺産の災害対策の実態把握を行う。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 無		
	主査：後藤治 (工学院大学)、副主査：足立裕司 (神戸大学)、幹事：稲垣景子 (横浜国立大学)、藤田香織 (東京大学)、委員：村上裕道 (兵庫県)、益田兼房・大窪健之 (立命館大学)、花里利一 (三重大学)、長谷見雄二・安井昇 (早稲田大学)、河合直人 (建築研究所)、西澤英和 (関西大学)、梅津章子 (文化庁)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2011 年度予算	210,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	東日本大震災の発生により、年度の活動計画変更を行い、関東支部有志等と協力して、歴史・意匠委員会の下に震災特別調査研究 WG を設け、その被害把握にあたった。調査結果については東京と仙台で公開研究会の形で報告。 被災地の調査は、津波被害が大きい箇所、福島県の原因事故の影響を受けた箇所については、十分に行われておらず、次年度に引き続き調査を行うことを予定している。
委員会活動の問題点・課題	本委員会及び特別調査研究 WG 以外にも、被災地の文化遺産災害の調査を行っているグループがあるので、情報交換を積極的に行いたい。また、被災した文化遺産の復旧に向けて、日本建築士会連合会や日本建築家協会と連絡をとり、可能な限りその数を増やせるよう努力したい。